

その脱炭素の取組 どこまで伝えられていますか

2027年1月から
年間3,500t-CO₂
販売開始

地域とともに進める、信頼性と物語性のある脱炭素対策



登米市内に広がる、適切に管理された森林



市民や企業との植樹祭



楽天イーグルスとのバットの森

登米市の森林J-クレジット

▶ 脱炭素は「削減」だけでは完結しません

再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が進む一方で、短期的な削減が難しい排出や、設備更新に時間を要する排出が残るケースも少なくありません。

そうした排出に対し、**信頼でき、説明可能なオフセット手段**が求められています。

▶ 登米市の森林J-クレジットとは

登米市の森林J-クレジットは、市有林を適切に整備・管理することで生み出された**CO₂吸収量を国が認証したクレジット**です。

単なる数値上の調整ではなく、地域の森林と林業を支える脱炭素の取組として活用できます。

▶ 2013年から累計3,039t-CO₂を販売し 以下のような企業に選ばれています

- ・脱炭素の取組を、社内外に分かりやすく伝えたい
- ・信頼性の高い国内クレジットを活用したい
- ・ESG・サステナビリティ情報開示に耐える施策を求めている
- ・地域貢献と一体となった脱炭素を進めたい



森林整備により、
吸収量の定量化が可能な人工林

👉 裏面では、「なぜ登米市の森林なのか」を詳しくご紹介します。

なぜ「登米市の森林」なのか



— 信頼・質・可視性を備えた脱炭素 —

① 自治体が関与する、顔の見えるクレジット

登米市の森林J-クレジットは、自治体に関与する仕組みのもとで創出・運用されています。森林の場所や整備内容が明確で、自社が購入したクレジットがどのように森林整備に貢献したのかを説明することができます。

② FSC森林認証を受けた森林によるクレジット

対象となる登米市市有林は、FSC森林認証FM認証を取得しています。これは、環境保全や生物多様性、地域社会への配慮など、持続可能な森林管理が第三者により確認された森林です。登米市の森林J-クレジットは、森林管理の「量」だけでなく「質」まで説明できる脱炭素対策として活用いただけます。



③ 林業とともに育つ森林

登米市では森林経営計画に基づき、計画的な間伐や保育などの森林整備が継続的に行われています。クレジットの活用は、CO₂吸収量の向上に加え、地域林業の持続性や雇用の維持にもつながります。

④ 森林と水がつながる「水の里・登米市」

登米市は、北上川水系に育まれた「水の里」です。健全な森林は水を育み、農業や暮らしを支えると同時に多様な生きものが息づく自然環境（生物多様性）を守っています。登米市の森林J-クレジットは、脱炭素と自然共生を同時に支え、企業の排出量の一部を補完する手段として、脱炭素の取組を支えます。



⑤ 登米市ならではの付加価値

- ・登米市名義による森林J-クレジット活用証明書の発行
- ・登米市公式ホームページへの企業名掲載
- ・そのほか、自治体による公的、企業の取組を客観的に示すことができます。

単なるクレジット購入ではなく

登米市の森林J-クレジット購入は、登米市の森林・林業・水環境・生物多様性を未来につなぐ取組への参画です。

お問い合わせ

登米市 森林J-クレジット事業者向け窓口（販売・活用支援）

登米市産業経済部 農林振興課 林業振興係

☎ 0220-34-2709

✉ norinorinshinko@city.tome.miyagi.jp



宮城県登米市

人口：70,783人（R7.9月末）
面積：536.09 km²
産業：水稲と畜産等の農業
気候：内陸性気候で降雪も少なく、東北地方でも比較的穏やか